

Ninja Team Green Cup 2021

車両規則

2020/11/1 : 第一版 発行
2020/11/16 : 第二版 改定
2021/3/19 : 第三版 改定
2021/5/12 : 第四版 改定
2021/5/31 : 第五版 改定
2021/6/20 : 第六版 改定
2021/7/5 : 第七版 改定
※改定箇所は赤字で表示

目次

1.カテゴリー	3
2.出場車両	3
3.排気量	3
4.最低重量	3
5.音量	3
5-1. 排気管	3
5-2. 騒音規制値	3
5-3. 音量規制	3
6.出場要件	4
7.仕様	4
7-0. レースのために取り外されなければならない部品	4
7-1. 安全確保のため、改造、変更、維持が義務付けられる事項	4
7-2. レースのために変更、改造が許可される部分	5
7-3. レース運営のために改造、変更、維持が義務付けられる事項	9
8.ビジュアル・アイデンティティ	13
8-1. レザースーツ	13
8-2. 車両グラフィック	14

Ninja Team Green Cup 車両規則

- 参加者は本稿の規則に沿った競技車両を準備すること。

1 カテゴリー

1-1 ワンメイクスポーツプロダクション

一般市販される Kawasaki Ninja ZX-25R をベースとしてレース用に安全上必要な改造を施された車両

2 出場車両

2-1 Kawasaki Ninja ZX-25R ('21 以降) の日本国内仕様市販車に限る。

3 排気量

3-1 排気量区分

250cc	4 ストローク	4 気筒
-------	---------	------

4 最低重量

4-1 車両の最低重量は規定しない。

5 音量

5-1 排気管

5-1-1 純正マフラーまたは JMCA 認証プレートが貼り付けられたマフラーでなければならない。

5-2 騒音規制値

5-2-1 平成 29 年 12 月 13 日に公布・施行された、交換用マフラーを備えた二輪自動車等の近接排気騒音規制が適用される。

5-2-2 相対値+5dB が認められる

5-3 音量規制

5-3-1 音量測定は、下記固定回転数方式が適用される。

4 気筒	7,700rpm
------	----------

5-3-2 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から 500 mm で、かつ中心線から後方 45° で排気管と同じ高さとする。但し、高さが 200 mm 以下である場合は 45° 上方の点で行う。

5-3-3 規制に適合しているマフラーには車検にてマークが付けられ、車検後にマフラーを変更することは禁止する。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスペアマフラーに関しては例外とする。

5-3-4 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定の rpm 域に達するまでエンジンの回転を増していくこと。測定は所定の rpm に達した時に行う。

- 5-3-5 規制値をオーバーしているマシンは、レース前車検において再度測定を受けることができる。
- 5-3-6 音量測定は気温 20℃を基準とする。気温 10℃以下の場合許容誤差+1dB/A が認められる。また気温 0℃以下の場合、許容誤差+（プラス）2dB/A が認められる。
- 5-3-7 メーターの読み方は常に切り捨てとする。（例:93.9dB/A=93dB/A）

6 出場要件

- 6-1 出場車両は道路運送車両の保安基準に適合した一般公道を走行可能な状態を保たれていなくてはならない。

7 仕様

以下に明記されていないすべての事項については、日本国内仕様車両が工場を出荷した時点の仕様を維持していなければならない。

7-0 レースのために取り外されなければならない部品

- 7-0-1 バックミラー
- 7-0-2 公道用ナンバープレート/グラブレール/荷台(リアフラップ ASSY)
- 7-0-3 同乗者用フットレスト(ブラケットを含む)
- 7-0-3 その他車検時に安全上取り外しを指示された部品

7-1 安全確保のため、改造、変更、維持が義務付けられる事項

- 7-1-1 アクセルは手で握っていないときは、自動的に閉じるようになっていること。
- 7-1-2 キルスイッチは、ハンドルを握ったまま操作できる位置に取り付けけること。
- 7-1-3 クローズドブリーザーシステム
 - 7-1-3-1 オイルブリーザーラインは車両出荷時のチューブ（ホース）をそのまま使し、接続方法も車両出荷時の状態が維持されていること。
 - 7-1-3-2 オイルキャッチタンクの装着は免除される。
 - 7-1-3-3 エアクリーナーボックス内は、競技前にオイル・ガソリン等を空にしなければならない。
- 7-1-4 エンジンオイルドレンプラグ、フィルターキャップ及びオイルフィルターの取付けボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。ワイヤーロックするための穴あけ加工は認められる。
- 7-1-5 燃料タンクブリーザー(エバポレーター)は、車両出荷時の状態が維持されていること。
- 7-1-6 燃料タンクフィルターキャップ及びオイルフィルターキャップは閉じた状態で漏れないようにならなければならない。
- 7-1-7 ラジエターリザーバータンクは車両出荷時の状態が維持されていること。
- 7-1-8 リアスプロケットガード
 - 7-1-8-1 チェーンとリアスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれることのないように、リアスプロケットガードを取り付けなくてはならない。
 - 7-1-8-2 そのガードはスプロケットとドライブチェーンの噛合部をカバーすることとし、そ

の材質は、アルミニウム合金、頑強な樹脂製も認められる。

7-1-8-3 取り付け方式はスイングアームにボルト・オンとして安易に脱落したりしないよう確実に固定しなければいけない。

7-1-8-4 形状はチェーンとスプロケットの間にライダーの手足が巻き込まれないという目的にかなったもので、かつシャープエッジでないこと。

7-1-8-5 スイングアームの補強とリアスプロケットガードを兼ねることは認められる。

7-1-8-6 リアスプロケットガードの板厚は最低 2 mm なければならない。

7-1-9 純正のフロントスプロケットカバーが装着されていないといけない。

7-1-10 ハンドルストッパーは車両出荷時の状態が維持されていること。

7-1-11 ブレーキおよびクラッチレバープロテクション

7-1-11-1 他の車両との接触等の場合に、ブレーキレバーが作動しないようにブレーキレバープロテクションの装備を義務付ける。

7-1-11-2 ブレーキレバープロテクションはスロットルグリップの作動に支障をきたさないよう、確実に取り付けられなくてはならない。

7-1-11-3 クラッチレバープロテクションの装備も認められる。

7-1-11-4 レバープロテクターの最大幅は、取り付け部を含めて左右のグリップラバーエンドから 50mm 以上突出していないこと。形状は自由とするが、鋭利な部分やエッジが無い状態で、取り付け方法は片持ちタイプに限定される。

7-1-11-5 レバープロテクターの材質は、樹脂製（ただしカーボン、ケブラー禁止）または、アルミニウム製に限定される。

7-1-12 サイドスタンド

7-1-12-1 サイドスタンドは、出走前に取り外すことを推奨するが、取り外す事が困難な場合は、走行中に展開しないよう、確実に固定されていないといけない。

7-1-12-2 サイドスタンドの固定には、A-TECH 製アンダートレイの使用を推奨する。

7-1-13 灯火類

7-1-13-1 ヘッドライト、ウインカーなどの灯火類は安全のため取り外すことを推奨するが、取り外す事が困難な場合は、転倒、破損時の飛散防止のため、確実にテーピングが施されなければならない。

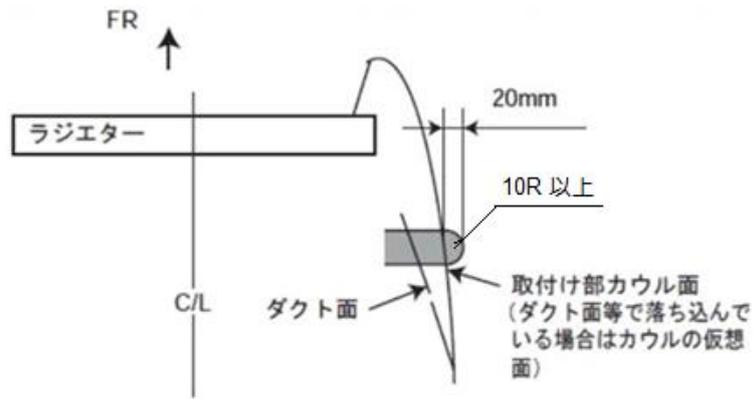
7-2 レースのために変更、改造が許可される部分

7-2-1 転倒時に車両のダメージを最小限に抑えるため、フレームにスライダーを取り付けることができる。

7-2-1-1 スライダーは純正アクセサリ（フレームスライダー：99994-1380）を使用することができる。

用品名	用品・部品番号	希望小売価格（税込）
フレームスライダー	99994-1380	¥28,160

7-2-1-2 上記以外のスライダーを取り付ける場合、スライダーの突き出し量はフェアリングの表面から 20 mm 以上突き出してはならない。また、スライダーの R は 10R 以上とし、確実に取り付けられている事。



7-2-1-3 転倒時に地面に接触する恐れのあるオイルを保持する全てのエンジンケース、カバーは樹脂製（FRP、カーボン、ケブラー、プラスチック、ジュラコン等）の2次カバーを取り付け、保護される措置を推奨する。

7-2-2 フロントフォーク

- 7-2-2-1 フロントフォーク内部パーツ及びスプリング及びスプリングカラーの変更、加工、改修は一切認められない。
- 7-2-2-2 上部と下部のフォーク・クランプ（三叉、フォーク・ブリッジ）は車両出荷時のままに維持されなくてはならない。
- 7-2-2-3 ステアリング・ダンパーを追加することは認められない。
- 7-2-2-4 車高調整を目的としたフロントフォークの上下の取り付け位置の調整は、車両出荷時に対して、プラスマイナス 2mm の範囲で変更する事ができる。

7-2-3 スイングアーム

- 7-2-3-1 リアホイールスタンドのブラケットの取り付けは可。ただし長く鋭角なものは安全上使用が認められない場合がある。

7-2-4 リヤサスペンション

- 7-2-4-1 リヤサスペンションはスプリング及びスプリングカラーの変更、追加、加工、改修は一切認められない。
- 7-2-4-2 バンプラバーの取り外し及び変更は認められない。

7-2-5 エキゾーストパイプ

- 7-2-5-1 エキゾーストパイプとサイレンサーは、JMCA の認証を受けた、平成 22 年騒音規制に適合する物に限り変更する事ができる。
- 7-2-5-2 エキゾーストパイプとサイレンサーに取り付けられた JMCA 認証プレートは出荷時の状態が維持されていなくてはならない。

7-2-6 ブレーキ

- 7-2-6-1 前後ブレーキパッドは変更する事ができる。
- 7-2-6-2 ブレーキフルードは変更する事ができる。
- 7-2-6-3 フロントとリアブレーキ（マウント、キャリア、ハンガー、ホース、マスターシリンダー）は、車両出荷時のものでなければならない。
- 7-2-6-4 ABS システムのキャンセル、変更、加工、改修は認められない。

7-2-7 タイヤ

7-2-7-1 使用タイヤはラジアルタイヤとし、タイヤの変更は下記に指定したタイヤに限られる。

2021シーズン指定タイヤ			
	メーカー	型番	サイズ
フロント	ダンロップ	GPR-300F	110/70R17M/C 54H
リヤ	ダンロップ	GPR-300	150/60R17M/C 66H

7-2-7-2 公式予選および決勝では公式車検時に検査を受け、マーキングを受けたタイヤを、前後1セットのみが使用できる。ただしウェット宣言時にはこの限りではない。

7-2-7-3 タイヤの追加工（再グルーピング等）は禁止される。

7-2-7-4 グリッド及びピットレーン上でのタイヤウォーマーの使用は禁止される。

7-2-8 ホイール

7-2-8-1 純正の一体構造ホイールに対していかなる改造、変更、改修は禁止される。

7-2-9 フットレスト

7-2-9-1 メーカーが出荷したフットレストに対していかなる改造、変更、改修は禁止される。

7-2-9-2 シフトパターンの変更（逆チェンジ）も禁止される。

7-2-9-3 フットレストのバンクセンサーを取り外す事は認められる。

7-2-10 ハンドルバー

7-2-10-1 ハンドルバーの交換及び取り付け位置の変更は禁止される。

7-2-10-2 ハンドルバーの末端にレバーガードを取り付ける事はできるが、クラッチ側（左）にレバーガードを取り付けない場合は純正のバーエンドが装着されていなければならない。

7-2-11 レバー類

7-2-11-1 ブレーキレバー/クラッチレバー（ホルダーを含む）及びクラッチケーブル、スロットルケーブルの変更は認められる。

7-2-11-2 ブレーキレバーに関しては、調整機構つきのものも認められるが、リモート式への変更は許可されない。

7-2-11-3 ブレーキ/クラッチレバーの先端はボール状でなくてはならない。（最低直径 16 mm）このボールを平たくすることができるが、端部は丸みをもたせていなければならない（最低の厚み 14 mm）。

7-2-11-4 ハイスロットルのためのスロットルホルダーの変更は禁止される。

7-2-12 フェアリング（カウリング、ウインドスクリーン含む全てのボディワーク）

7-2-12-1 全てのフェアリングはアンダートレイを除き市販時のものから交換は認められない。

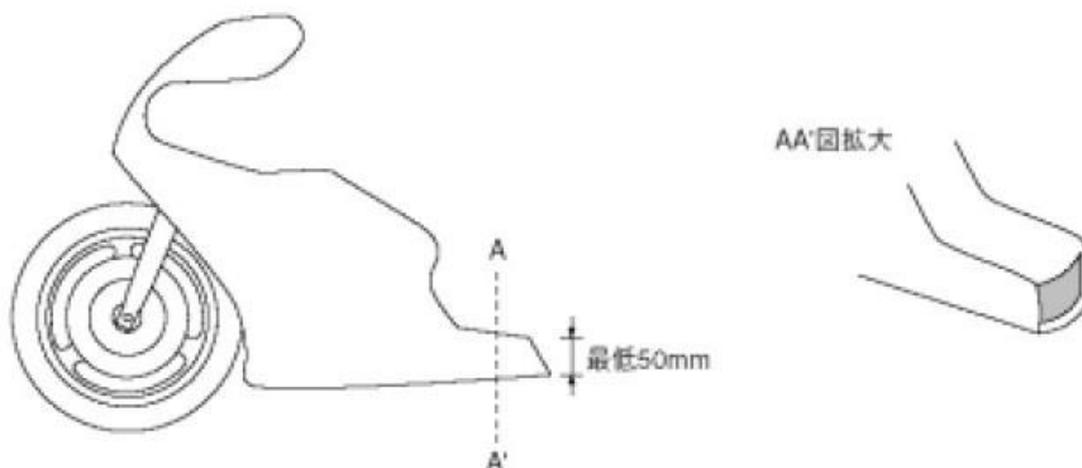
7-2-12-2 尖っているエッジは、少なくとも半径 8 mmの丸みを持たせなければならない。

7-2-12-3 ウインドスクリーンは変更する事ができる。

7-2-12-4 ウインドスクリーンの先端と、すべてのフェアリングの露出部分の先端は丸みを持たせなければならない。

7-2-12-5 エンジンの破損または故障時に、そのエンジンに使用されるエンジンオイルおよびエンジンクーラント総量の半分以上（容量は下記表に示す）をフェアリング下部（オイル受け）で保持できるアンダートレイを装着しなければならない。

2021 Ninja ZX-25R	総量	1/2 量
エンジンオイル	2.9L	1.45L
冷却水	1.9L	0.95L
必要アンダーカウル容量		2.40L



7-2-12-6 アンダートレイ（オイル受け）の端部の高さは最低 50 mm以上確保しなければならない。

7-2-12-7 アンダートレイの内側には、オイルを吸収する難燃性の素材が貼られてもよい。この規則を満たすための最低限の外観変更が許可される。

7-2-12-8 アンダートレイ下部には、直径 20mm（許容誤差+5mm）の孔を最高 2 つまで設けても良いが、この孔はドライコンディションレースの際は耐油/耐熱性を持つグロメット等で確実に閉じていること。競技監督がウェット・レースを宣言した場合のみ開くことができる。また、上記の規則に合致するアンダートレイ取付け用ステーの追加は認められる。

7-2-12-9 フロントフェンダーの変更は認められない。

7-2-12-10 スイングアームに固定されたリアフェンダーの変更は認められない。

7-2-12-11 シートは、主催者公認の純正アクセサリに限り変更は認められる

2021 年公認アクセサリシート

品名	純正アクセサリ品番	メーカー
スポーツシート	99994-1404	川崎重工業株式会社
ST/RC 用シートパッド・ベース台座セット	未定	A-TECH

7-2-12-12 ライディングポジション調整のための最小限度の部品（パッド、樹脂類など）を追加することが認められる。

7-2-13 排気ガス対策装置の取り外しは禁止される。(エンジン外部に装備されたパイプ・チューブ類を取り外し、回路を閉塞すること)

7-2-14 ドライブ・ドリブンスプロケット及びドライブチェーン

7-2-14-1 ドライブチェーンは、一般公道で使用できる同一チェーンサイズのものに限り、交換する事ができる。

7-2-14-2 チェーンサイズを変更する事は禁止される。

21 Ninja ZX-25R チェーンサイズ	520
-------------------------	-----

7-2-14-3 チェーンのリンク数はファイナルレシオの変更に合わせて変更する事ができる。

7-2-14-4 ドライブ・ドリブンスプロケットを変更してファイナルレシオを変更する事は認められる。ただし一般公道での走行に支障をきたさない事。

7-2-15 保安部品

7-2-15-1 ホーンを取り外す事は認められる。

7-3 レース運営のために改造、変更、維持が義務付けられる事項。

7-3-1 モーターサイクルの傾斜角

7-3-1-1 モーターサイクルは、荷重がかからない状態においてタイヤ以外のいかなる部分も地面に触れることなく、垂直線から 50°の角度に傾斜することができること。

7-3-2 ゼッケン

7-3-2-1 モーターサイクルのフロントとシートカウルの両サイド又は、シートカウル上部で数字の上部をライダーに向けるようにゼッケンナンバーが装着され、オフィシャルが明白に認識できるようにしなければならない。またモーターサイクルのいかなる部分によっても、またはライダーが自分のシートに座った時に身体によっても隠れてはいけない。

7-3-2-2 シートカウル上部のゼッケンサイズはフロントゼッケンナンバーと同じサイズでなければならない。

7-3-2-3 ゼッケンプレート装着する代わりに、ボディまたはカウリングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。

7-3-2-4 ゼッケンプレートの最低寸法は 275 mm×200 mmとする。この面積は単色であること。シート～シートカウルにまたがってゼッケンを貼付する等ゼッケンの背景が単色でない場合は、カッティングシート等を貼り、上記寸法のゼッケンの背景を単色で確保した上でゼッケンを貼付すること。

7-3-2-5 数字の書体は **Futura Heavy** を基準とするゴシック体とする、また影付き文字などは認められない。

7-3-2-6 ゼッケンプレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分にも、またライダーが自分のシートに座った時に身体にも隠れてはいけない。

7-3-2-7 ゼッケンプレートの数字の間に穴を開けることができる。しかしどのような状況においても数字自体に穴を開けてはならない。穴の部分も規定の色に見えるようにすること。

7-3-2-8 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様に
や消しで書かれていること。

※判別しづらい組み合わせ例：

以下の組み合わせのゼッケンは認められない。また、以下の組み合わせ以外であ
っても、判別しづらい場合は修正を指示される場合がある。色の指定がある場合
は、その指定に従うこと。

- ・ 赤地に黄色文字、あるいはその逆
- ・ 赤地に紫文字、あるいはその逆
- ・ 黄色地に白文字、あるいはその逆

7-3-2-9 数字の最低寸法は下記のとおりとする。

フロントナンバー

最低高 140mm

最低幅 80mm (1 の場合 25mm)

数字の最低の太さ 25mm

数字間のスペース 15mm

サイドナンバー

最低高 120mm

最低幅 60mm (1 の場合 25mm)

数字の最低の太さ 25mm

数字間のスペース 15mm



ゼッケン書体の良い例

Futura Heavy

1234567890

ゼッケン書体の悪い例

1234567890

「7」と
混同しやすい。

「0」と混同しやすい。

1234567890

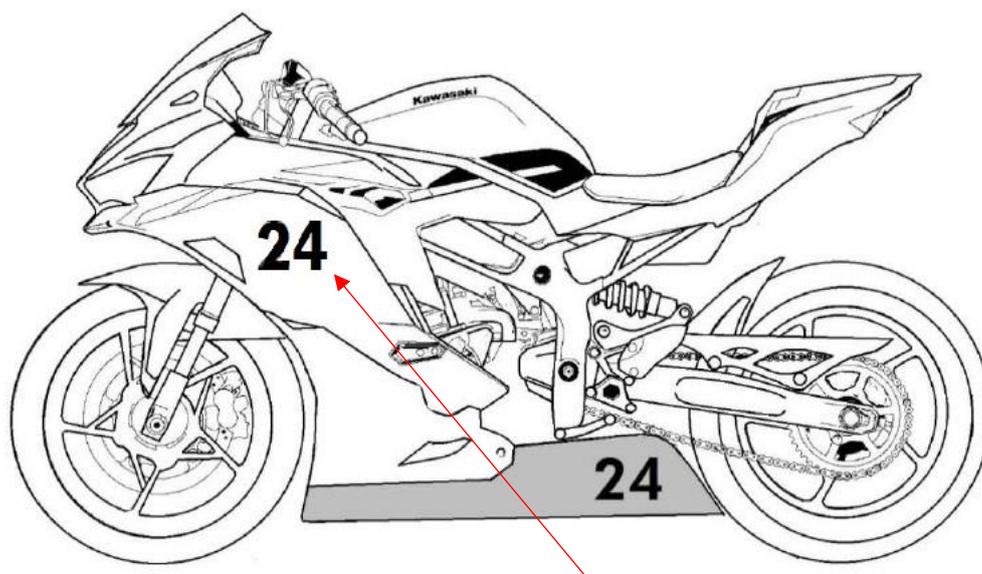
非対称な接続 混同のある文字はその他の数字と混同しやすい。
数字の太さが一定でないものは誤読しやすい。

1234567890

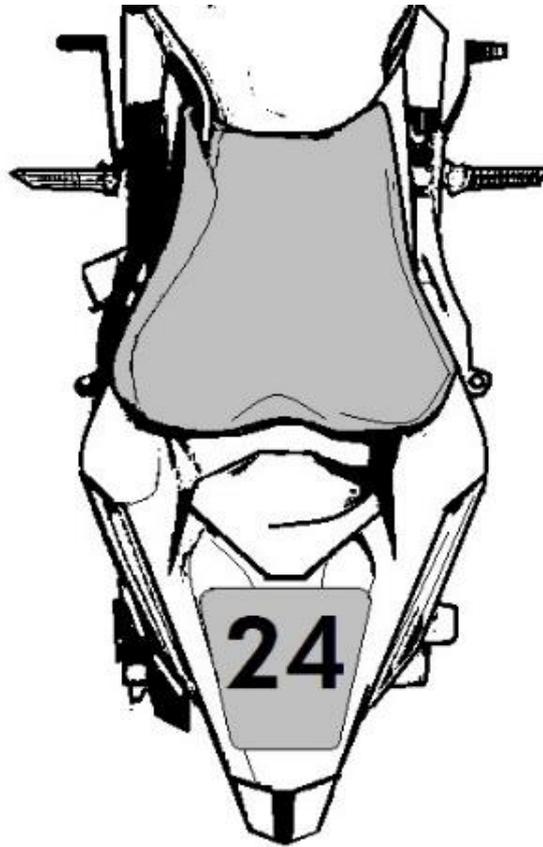
7-3-2-10 サポートナンバー

シートカウル上部にゼッケンナンバーを装着する場合は、アンダーカウルの左右両面にサポートナンバーを付けなければならない。

サポートナンバーの貼り付け位置は、アンダーカウル内で、前後のタイヤの上端を結ぶ線の下部内とし、アンダーカウル後端部を推奨位置とする。サポートナンバーの最低寸法は、2桁ゼッケン幅 185mm x 高さ 150mm、3桁ゼッケンの最低幅は 260 mmとする。



サポートナンバーがアンダーカウルに貼れない場合 サイドカウルでも可とする



シートカウル上部ゼッケン

- 7-3-2-11 正規のゼッケンナンバーと混同する恐れのあるその他のゼッケンプレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外すこと。
- 7-3-2-12 全てのゼッケンプレートの数字の周囲には最低 25mm の余白が残され、ここにはいかなる広告も表示しないこと。この規則に適合していないゼッケンプレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。

7-3-3 燃料タンク

- 7-3-3-1 燃料タンクは一切の改造・変更は禁止される。

7-3-4 フュエルポンプ

- 7-3-4-1 エレクトリックフュエル・ポンプは、いかなる改造・変更は禁止される。

7-3-5 燃料

- 7-3-5-1 競技用ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常ガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいは開催サーキットのガソリンスタンドにて購入できるガソリンとする。
- 7-3-5-2 競技用ガソリンには販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。
- 7-3-5-3 大会特別規則によりガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合それに従うこと。

7-3-6 冷却水

7-3-6-1 水冷エンジンの冷却水は、水あるいは水とアルコールの混合物（レース用として一般販売されている冷却水）に限る。

7-3-6-2 不凍液（ロングライフクーラント：LLC）が含まれる冷却水は使用できない。

7-3-6-3 グリコールを含まない冷却水（クーラント）は使用する事ができる。

例） ELF RACING COOLANT ORGANIC など。

7-3-7 テレメトリー

動いているモーターサイクルへ情報を伝える、または動いているモーターサイクルから情報を得ることは禁止される。マシンには、自動計測装置の搭載が必要とされる可能性もある。P-LAP などの自動ラップ計時デバイスは“テレメトリー”とはみなされないが、公式計時方式、および装備を妨げてはならない。

8 ビジュアル・アイデンティティ

8-1 レザースーツ

8-1-1 レース参加者は主催者指定のレザースーツを着用しなくてはならない。

8-1-2 2021 年の指定レザースーツは以下の通りとする。

2021 年シーズン指定レザースーツ

メーカー	品名	型番
RS-TAICHI	GPWRX SP ツナギ	JNXL305SP-XXXXXXXX ※1
RS-TAICHI	GPWRX TYPE-B	RS TAICHI NXL305 GP-WRX ※2

※1：型番の末尾は、M, MW, L, LW, XL のサイズ表記、および枝番号

※2：オフィシャルレーシングスーツ TYPE-B には純正部品の型番は設定いたしません。

8-1-3 オフィシャルレーシングスーツの基本グラフィックは図1に示す物として、基本グラフィックを変更する事はできない、また型番が同じ NXL305 であっても図1に示す基本グラフィック以外の物はオフィシャルレーシングスーツとしては認められない。

<図1>



8-1-4 レースで使用するレザースーツには、以下にあげるワッペンを貼り付ける事は禁止する。

- ・Kawasaki 以外のオートバイメーカーのロゴおよび社名（個人名の場合を除く）
- ・大会協賛メーカーに競合する他メーカーのロゴおよび社名
- ・著しく公序良俗に反する内容
- ・大会イメージの維持上、適当でないと主催者が判断した物

8-1-5 レース主催者が必要と認めた場合には、ワッペンをガムテープ等でカバーする事を命じる事がある。

8-1-6 その他、主催者が認めた個人スポンサーなどのワッペンを貼り付ける事は許可される。

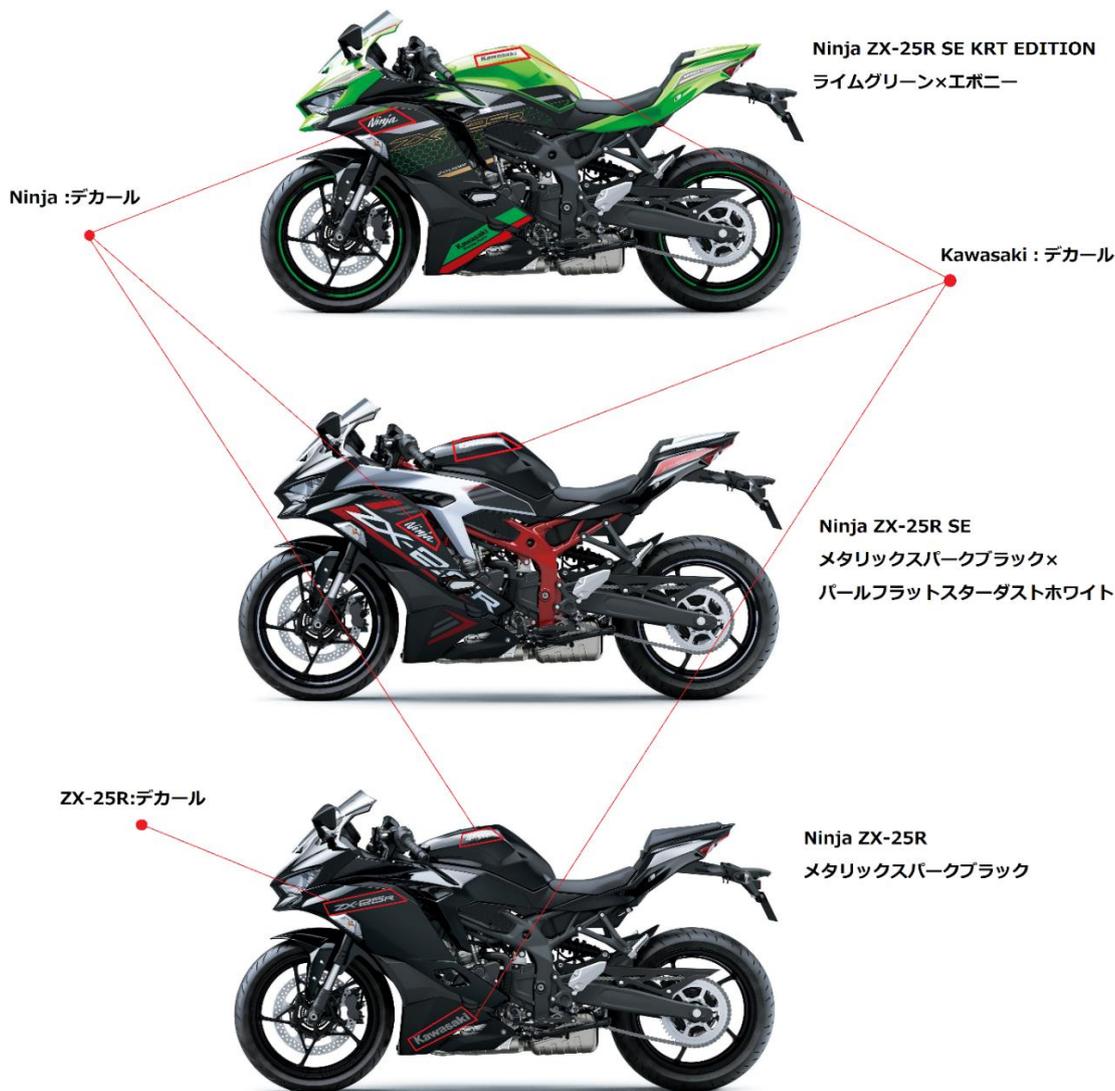
8-2 車両グラフィック

8-2-1 2021 年の公式車両グラフィックは以下のとおり。

バージョン	グラフィック名	維持指定デカール
Ninja ZX-25R SE KRT EDITION	ライムグリーン×エボニー	Ninja Kawasaki
Ninja ZX-25R SE	メタリックスパークブラック×パールフラットスターダストホワイト	Ninja Kawasaki
Ninja ZX-25R	メタリックスパークブラック	Ninja Kawasaki ZX-25R

8-2-2 車両のグラフィックおよび塗色は変更する事が出来るが、図 2 に挙げる、Ninja, Kawasaki, ZX-25R の 3 種ロゴマーク（デカール）の書体、サイズ、および貼り付け位置は維持されなくてはならない。

図 2



8-2-3 外装部品（フェンダー・カウリング）には、主催者指定の協賛企業から供給されるステッカーを指定された位置に貼り付けなくてはならない。

※詳細は各サーキット発行の大会の特別規則書を参照。

8-2-4 その他、大会により協賛スポンサーは変更あるいは追加される事がある。

8-2-5 車両グラフィックのイメージを維持し、上記協賛企業と競合しない個人スポンサーなどのステッカーを貼り付ける事が認められる。

8-2-6 以下に該当するステッカーおよびグラフィックについては、主催者が、撤去もしくはカッティングシート等での隠蔽を指示する場合がある。また、これに従わない場合は参加を取り消される。

- ・ Kawasaki 以外のオートバイメーカーのロゴおよび社名（個人名の場合を除く）
- ・ 大会協賛メーカーに競合する他メーカーのロゴおよび社名
- ・ 著しく公序良俗に反する内容
- ・ 大会イメージの維持上、主催者が適当でないと判断した物